

つ 津 み ら い

いわき けい い ち  
岩 脇 圭 一

録画映像



## 問 大門・丸之内の未来ビジョン策定について問う

策定委員会の3つの分科会が各2回開催されているが進捗状況は。また、未来ビジョンは幅広い世代の市民の皆さんに共有することをイメージして作成に取り組むべきと考えるが構成イメージは。

今回の取り組みの中で未来ビジョンの策定とともに官民連携によるエリアプラットフォームを組成していくという目標があるがどのような方向性であり、次年度以降の展開はどうか。

## 答 行政が腰を据えて取り組んでいく

各分科会では、様々な視点からの意見があったほか、次年度以降につながる実験的な取り組みの計画なども進めている。また、未来ビジョンの構成イメージは、策定に至った趣旨、地区の課題などを整理した上で、地区の多様な関係者が目指す大門・丸之内地区にふさわしい将来像を俯瞰図なども交えて記載することとしている。

エリアプラットフォームについては、一つの組織として動き出し、構成者である多様な関係者や行政が責任と役割を自覚し、その力を結集することが重要である。次年度以降については、津市として腰を据えて取り組んでいく。

### その他の質疑・質問

- 市庁舎・学校施設における電気料金高騰の影響は
- 地域脱炭素宣言を踏まえ、公共施設においてどのように取り組むか
- 新しい時代の学びを実現する学校施設について
- 令和4年人事院勧告・報告について
- 長時間労働の是正に向けた対応は **など**

官民連携（Park-PFI）により整備が進む中勢グリーンパーク



つ し み ん か い  
津市民の会

わたなべ て る か ず  
渡 辺 晃 一

録画映像



## 問 「魅力ある農業」に対する津市の施策について問う

多くの農業者から肥料、農薬、資材等の高騰が経営を圧迫しているとの声を聞く。また、農業者の高齢化、若年層の農業離れで農業者の減少に歯止めがかからない状態であり、農地所有者も相続を経るごとに農地が分散することで、耕作放棄地が増えている。食料自給率を支える農業は「生命維持産業」である。「魅力ある農業」にするための津市の施策を伺いたい。

## 答 補助制度などを充実させ農業者を応援し、支援していく

農地保全活用という観点からは、現在48.2%の農地の集積率を、当面の目標は51%としてさらに進めていく。担い手の育成確保という観点からは、新規就農者を増やすために市民農業塾を開催して農業指導に当たっており、本年も12人が参加していただいている。生産振興という観点からは、6次産業化に対する補助金を最長3年間で交付しており、令和3年度は5件の支援を行った。農産物の普及、消費拡大という観点からは、津市産の農産物を市内外でPRしている。

津市独自の補助制度などもさらに充実させ、農業者のやる気や意欲を応援し、支援していく。

### その他の質疑・質問

- 本市のカーボンニュートラル（脱炭素）実現に向けた取り組みに関し、再生可能エネルギーの導入状況、考え方、施策展開により見込む効果は
- 水道事業の現状、老朽管の更新や耐震化計画および指定給水装置工事事業者制度について
- 県道一志出家線中川原橋と市道井生波瀬線の工事の進捗は

「生命維持産業」として農業は第1次産業の主役であり、津市独自の施策が必要

